

# 建築計画

担当教員： 根本 修平

履修年次・区分： 2・3年（専門－展開－計画・デザイン）

【二級・木造建築士 必修】

授業のテーマ： 建築計画学は、人間の身体や行動、心理などに着目し、快適で機能的な建物のあり方を研究する分野で、その成果は実際の建物の計画や設計に反映されることを目的としています。本講義では、人間の身体感覚に関わる人間工学的内容と住宅や学校のような機能類型的な内容について講義します。

この日の授業内容： 住宅とは



この日の講義では住宅のそれぞれの室について、サイズや機能などに注目して解説されました。例えば、寝室には6～8畳の広さが必要だと言われていますが、ベッドメイキングにはベッド回り60センチの空間が必要です。「部屋の大きさに合わせて生活を決めるのではなく、生活に合わせてどんな部屋が必要かを考えていくことが重要です。」

「浴室扉は外開きにすると蒸気で脱衣室が濡れてしまいますから、内開きにします。トイレ扉は中で倒れた人の救出ができるよう、外開きに作ります。」「子供室は手洗い器を設けて個人的生活空間を大事にする事例もあります。逆に、狭くすると居間で過ごす時間が長くなります。どのくらいの大きさにするかで家族の動きをコントロールできます。」住宅には様々な思いが込められます。

(2017年12月取材)